

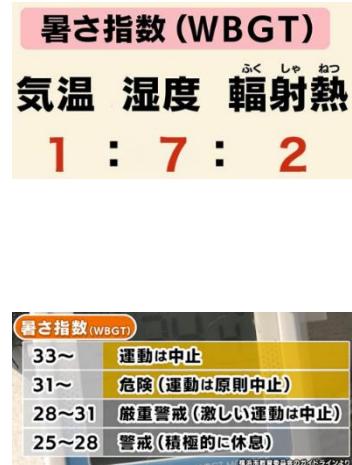
「熱中症警戒アラート」とは？

NHK防災 <https://www.nhk.or.jp/bousai/articles/30864/>

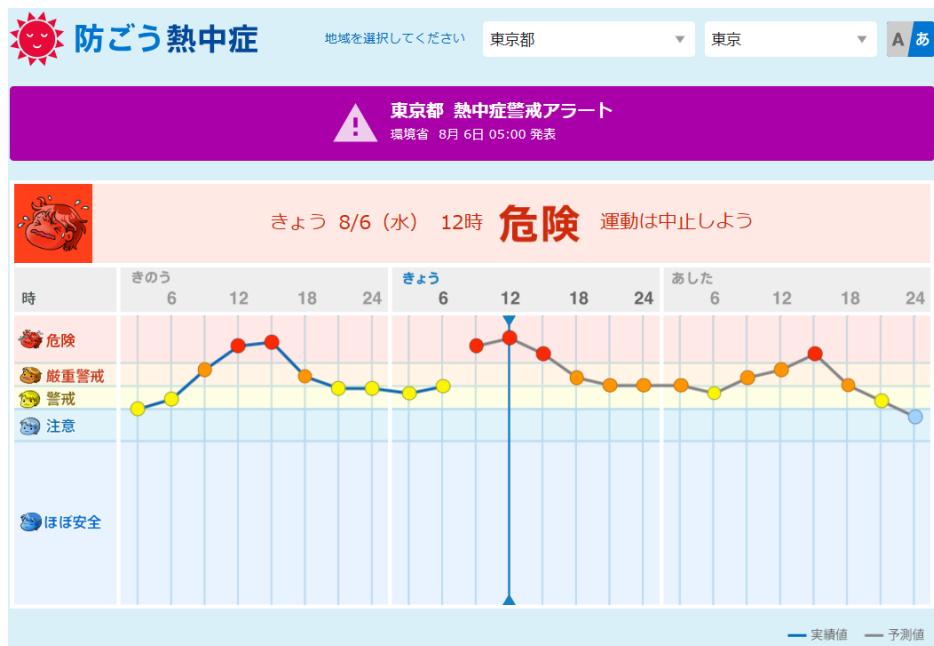
環境省は、暑さ指数が33以上になると予測される地域に「熱中症警戒アラート」を発表しています。2024年4月、新たにもう一段階高いレベルの「熱中症特別警戒アラート」が設けられました。「熱中症特別警戒アラート」は、県内の観測地点で暑さ指数35以上と予測された場合に発表。イベントの主催者などの管理者は、運動やイベントの中止の判断が求められます。

暑さ指数は、NHKの特集ページ「防ごう熱中症」で簡単に確認することができ、閲覧ください。

NHKの特集ページ「防ごう熱中症」：<https://www3.nhk.or.jp/news/heatstroke/tokyo.html>



熱中症特別警戒アラート「防ごう熱中症」



熱中症の重篤化を防止するため、労働安全衛生規則が改正されたことを考慮して、ボランティア活動でも熱中症や事故が発生した場合 団体や主催者にも責任が問われることになり、安全管理をより厳格に行う必要があります。7~8月の暑さ指数(WBGT)が 28 以上で厳重警戒、31 以上で危険、33 以上で熱中症警戒アラート、35°C以上で熱中症特別警戒アラート)のランクになった場合は、身近な場所での暑さ指数(WBGT)を確認し、涼しい環境以外では 野外活動等を中止するとよいと考えています。

○ボランティア団体における熱中症対策と安全管理責任の重要性

<https://life.awaisora.com/2025/06/17/5be4b955-6e00-4066-b01d-8cc9d7138989/>

- 1)ボランティア団体の安全管理責任の強化
- 2)熱中症対策におけるボランティア団体の役割
- 3)「自己責任」から「団体責任」へのシフト
- 4)今後の取り組みと予防策

松戸の暑さ指数情報は東京都心の警戒アラート情報を参考に検索するとよいです。

○NHK の特集ページ「防ごう熱中症」:<https://www3.nhk.or.jp/news/heatstroke/tokyo.html>

森の中で直射日光の当らない所、風通しの良い所は数値が高くても過ごしやすい場合もあります。最高温度が 31°C を越え 35°C 以上になると熱中症の危険性が増していくので、各団体の判断で作業の自粛や中止を決定するのも必要だと考えています。

暑さ指数 WBGT: 気温1 + 湿度 7 + 辐射熱 2 によって算出され、ネットでも機器を検索し 購入できます。

○暑さ指数 (WBGT) : 計測器(例) 6,541 円

A&D 黒球付熱中症計みはりん坊プロ【熱中症指数モニター】

JIS B 7922:2023 適合品(クラス 2) AD-5698B

○松戸里やま応援団HP:<https://matsudo-satoyama.org/heat/>

「熱中症対策と安全管理」

熱中症の症状と応急処置(PDF)、

熱中症の原因とメカニズム(PDF)の記事を掲載しました。

